

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 101-8110
 住 所 東京都千代田区神田神保町1丁目105番地
 氏 名 旭化成ケミカルズ株式会社
 代表取締役社長 小林 友二
 (代理人) 川崎製造所 所長 井谷 圭仁 印
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	旭化成ケミカルズ株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	神奈川県川崎市川崎区夜光1丁目3番1号		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	16	化学工業
主たる事業 の内容	石油化学系基礎製品製造業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	93,506	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input checked="" type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量	7,253	t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	環境安全部
		所在地	神奈川県川崎市川崎区夜光1丁目3番1号
		電話番号	044-271-2102
		FAX番号	044-271-2115
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成22年度 ～ 平成24年度 (報告年度24年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 215,708 t-CO ₂ (調) 215,617	(実) 206,419 t-CO ₂ (調) 186,359	(実) 214,371 t-CO ₂ (調) 194,355	(実) 183,437 t-CO ₂ (調) 165,870	(実) 206,060 t-CO ₂
削減率		(実) 4.3 % (調) 13.6 %	(実) 0.6 % (調) 9.9 %	(実) 15.0 % (調) 23.1 %	(実) 4.5 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	—		単位	—	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値	100.0	93.27	97.91	102.6	96.03
削減率		6.7 %	2.1 %	-2.6 %	4.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	・温室効果ガス発生係数の少ない外部購入用役への切り替えにより温室効果ガスの発生量を4.3%削減、原単位で6.7%向上することができた。
第2年度	・温室効果ガス係数の低い外部用役の購入を継続した。 ・蒸気発生部場であるアクリロニトリルプラントでの減産による外部蒸気受入量増、及びメチルメタアクリレートプラントでの品質維持のための廃油焼却増等により、対基準年度温室効果ガス排出量 +0.6%削減、原単位では2.1%の改善となった。
第3年度	・温室効果ガス係数の低い外部用役の購入を継続した。 ・生産数量が対基準年度16.6%低下したが、蒸気発生部場であるアクリロニトリルプラントでの減産による外部蒸気受入量増等のため温室効果ガス排出量は対基準年度15.0%の削減となった。このため、原単位では対基準年度2.6%の増加となった。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

<p><全社目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガス排出量の1990年度対比、50%削減レベルを維持 → 2012年度 66%削減 ・産業廃棄物の最終処分量を2000年度対比、90%削減 → 2011年度 93%削減

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第 1 号、 第 2 号、 第 4 号該 当者等)	計 画	ISO14001 マネジメントシステムに基づき、製造所の実施計画及び各部署の実施計画を定め、温室効果ガス排出量の削減に関する対策を実施する (1) 温室効果ガス発生係数の少ない外部購入用役への切り替え (2) 運転改善による省エネ
	第 1 年度	・ 温室効果ガス発生係数の少ない外部購入用役への切り替えを実施した。 (1) 発電設備のガスタービンを停止し、東京電力からの全量買電に変更した。 (2) 自家発生蒸気の一部を「川崎スチームネット」からの買蒸に変更した。
	第 2 年度	(1) 東京電力からの全量買電、川崎スチームネットからの買蒸受入を継続した。 (2) 運転改善による省エネ対策を継続実施した。
	第 3 年度	(1) 東京電力からの全量買電、川崎スチームネットからの買蒸受入を継続した。 (2) 運転改善による省エネ対策を継続実施した。
自動車等 (第 3 号該 当者等)	計 画	
	第 1 年度	
	第 2 年度	
	第 3 年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	・なし
第1年度	・なし
第2年度	・なし
第3年度	・なし

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	・かわさきコンパクトへの参加、・エコドライブ要請の実施、・廃棄物の排出量の把握及び削減、・荷主CO2排出量削減の推進、・グリーン購入の推進、・家庭での温室効果ガス抑制の啓蒙活動として、「EcoZouさんClub」への登録推進
第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ・かわさきコンパクトへの参加 ・エコドライブ要請の実施 → 2010年度要請件数：153件 ・廃棄物の排出量の把握 ・荷主CO2排出量削減の推進 ・グリーン購入の推進
第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・かわさきコンパクトへの参加 ・エコドライブ要請の実施 → 2011年度要請件数：200件 ・廃棄物の排出量の把握 ・荷主CO2排出量削減の推進 ・グリーン調達の推進
第3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・かわさきコンパクトへの参加 ・エコドライブ要請の実施 → 2012年度要請件数：235件 ・廃棄物の排出量の把握 ・荷主CO2排出量削減の推進 ・グリーン調達の推進

様式第 2 号

(第6面)

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績 (排出係数反映)

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	189,624	t-CO ₂
(調)	189,419	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k_l 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
旭化成ケミカルズ(株)川崎製造所	神奈川県 川崎市 川崎区 夜光1-3-1	1631	石油化学系基礎製品製造業	182,376 t-CO ₂
旭化成ケミカルズ(株)川崎製造所 アクリル樹脂製造部	神奈川県 川崎市 川崎区 浮島町10番9号	1635	プラスチック製造業	7,248 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 以上 1,500k_l 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500k _l 未満	
300~400k _l 未満	
200~300k _l 未満	
100~200k _l 未満	
100k _l 未満	

(3) 事業所等単位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
旭化成ケミカルズ(株)川崎製造所	神奈川県 川崎市 川崎区 夜光1-3-1	1631	石油化学系基礎製品製造業	182.376 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	1
------	---